

# 有限会社 ハル

## ■ 高収益作物の導入により所得向上を図る



### 〈法人の概要〉

所在地: 千069-0211 南幌町南 11 線西 15 番地

代表者: 代表取締役 佐々木啓二

構成員: 3 名(構成農家 3 戸)

役員: 2 名 常時雇用者: 6 名

設立: 平成 16 年 4 月 資本金: 600 万円

事業内容: 野菜(転作含む) / 農作業受託

水稲 24.1ha、秋まき小麦 10.8ha、大豆 12.1ha、長  
ねぎ 9.8ha、かぼちゃ 0.9ha、その他 5.1ha(H23 年)

経営面積: 62.7ha 農作業受託面積: 45ha

売上高: 1 億 106 万円(H22 年) 交付金も含む

電話: 011-378-0006 FAX: 011-378-0006

URL: <http://hal-negi.ftw.jp/>

E-mail: [hal5656@cb.wakwak.com](mailto:hal5656@cb.wakwak.com)

### 〈法人のあゆみ〉

- |         |                                       |
|---------|---------------------------------------|
| 平成 16 年 | 構成農家 4 戸で有限会社ハルを設立、経営面積 56.47ha でスタート |
| 17 年    | 1 戸が離農し、構成農家 3 戸となる                   |
| 18 年    | 根わさびの試験栽培実施                           |
| 19 年    | 農協の事業によりハウスを増設、青ねぎ、小ねぎの栽培を本格的に実施      |
| 22 年    | 従業員 1 名を採用                            |
| 23 年    | 加工用トマト、サラダ用キャベツ等の試験栽培を実施              |

### 〈設立の経緯・設立後の状況〉

- ・農業政策が大きく変わり、農産物の生産環境も変わっていく中、地域で課題を抱える農家が、それぞれの長所を生かし、短所を補うため、様々な経営形態を検討。その結果、地域のリーダー的役割である農業委員や農協の理事が中心となり、一つの経営体として農業生産法人を設立することとなった。
- ・設立にあたっては、出資者や役員、出資額、財産の引継方法、構成員の負債整理、給与額の決定方法などについて検討を行い、次のように決定した。
  - ① 出資者については構成農家の世帯主とし、全員が役員を務め、代表は役員内で協議して決定。
  - ② 出資額は、有限会社としての体系を確立するため、均等割に加え、代表は多く出資。
  - ③ 財産の引継は、会社としての初期投資を抑制するため、農地、施設、機械等については賃貸とし、農地の賃貸料は一律とした。
  - ④ 構成員の負債は、特別な措置を行わず、それぞれ賃貸料、給料の中から償還。
  - ⑤ 給与額は、各戸の過去の農業所得等を基準として決定。
- ・検討から設立までには 1 年を要し、その間、地元農協の担当職員に全面的に相談に乗ってもらい、時間外も対応してくれるなどのサポートがあった。
- ・平成 16 年 4 月、経営の合理化による所得向上、高収益作物の導入を目指し、構成農家 4 戸で有限会社ハルを設立。経営面積約 56ha でスタート。その後、農地の借入や購入などにより、現在の経営面積は約 63ha となる。
- ・設立時の従業員は役員の妻と後継者 1 名、その後、平成 22 年に従業員を採用し、現在の従業員数は 6 人。
- ・平成 19 年には現在の主力商品である長ねぎの栽培を本格的に実施。

### 〈法人経営で生じた課題と対応策〉

- ・作物の分担制が導入できて良かったが、担当ではない作物に無関心になることから、構成員は作付作物の1つでも失敗すると経営のマイナスになるという意識を持ち、全般を見渡せるように心がけている。

### 〈法人経営のメリット・デメリット〉

- ・作物分担制の導入により、担当作物に特化して専属で作業ができる。
- ・無駄な機械を持たずに効率的な作業体系が可能となる。
- ・構成員と一緒に作業することで、若い従業員に技術の伝承ができる。

### 〈法人が継続するためのポイント〉

- ・有利販売に向け、栽培履歴を確実に記帳するようになり、安心・安全な農産物として好評を得ている。
- ・決まった時間内でいかに仕事を効率よく進めていくかを常に考えて行動する。

### 〈これから法人化を目指す農業者へのメッセージ〉

- ・設立時から、10年後、15年後を考え、後継者を想定した中で進めるべきである。

### 〈特徴的な活動や取り組み〉

- ・長ねぎを中心に、人に優しく安全な農産物の生産をモットーとしている。
- ・用途に合わせた長ねぎを生産。「ねぎのデパート」として、販売促進を行っている。
- ・米については「なんぼろピュアライス」の会員として、YES!clean 米の生産に取り組んでいる。

### 〈経営目標と将来の展望〉

- ・現状の機械等の装備から100haの経営が可能であり、規模拡大を目指す。
- ・農産物の売上高1億円を目指す。
- ・若い従業員はただ働くだけではなく、いろいろな提案をして考える人間になってほしい。

### 〈視察等の受入〉

要相談。資料等が必要な場合は実費負担あり。

連絡先: 011-378-0006 (担当:代表取締役 佐々木啓二)